



17交通安全琴崎八幡宮の碑

宇部が村から一躍市になった頃、東新川から琴崎八幡宮に向けて道路(いわゆる参宮通り)が作られたが、当時の宇部にとっては大事業であった。そして大正13年(1924)に、この位置付近に、道をまたいで琴崎八幡宮参道入口を示す大きな鳥居(第一鳥居)が建てられた。ところが、車が増えて参道を広げた。そのため鳥居の片脚が道の真中に残って危険になることから、昭和40年(1965)の頃解体され、その記念碑としてこの位置に石灯籠が建てられた。



18皇太子殿下御成婚記念碑

皇太子殿下(昭和天皇)成婚記念碑で、大正14年(1925)11月に建立された。



19神原公園の石碑

昭和3年(1928)に、神原公園が天皇(昭和天皇)即位御大典を記念してできた。そしてこの石碑が、昭和5年(1930)に建てられた。なお、この位置に福原越後公の銅像があったが、第二次大戦のおり献納された。



20旧県立宇部高等女学校記念碑

昭和62年(1987)12月、県女同窓会(美登里同窓会)がみどりの石を用いて建てた。現琴芝小学校は、かつて県女の乙女たちが学んだ夢の跡地である。

21南向き地藏

寛保元年(1741)に建てられたお地藏様で、今から260年前のものである。南向きに立っているため地元では「南向き地藏さん」と呼ばれている。

22宇部紡績会社の跡

渡邊祐策翁が大正6年(1917)創設。戦争末期、呉海軍工廠宇部分工場となり武器を製造していたが、米軍機の爆撃で壊滅した。のち宇部市立図書館がここに移転新築され、平成3年(1991)10月に開館した。紡績工場の外壁に使われていた赤レンガの一部をオブジェとして館庭に残している。

23光善寺山門

真綿川の東にあり曹洞宗のお寺。新しく改築され、平成18年(2006)11月12日に落慶法要が営まれた。

24出雲大社宇部教会

御祭神は、大國主大神。縁結び・交通安全・商売繁盛などを祈願目としている。明治時代、厚狭郡吉部村に奉斎されていたが、昭和3年に現在の地に遷座奉斎された。

■制作/琴芝まちづくりサークル「はーとふる琴芝」
 ■監修/梶返昭二 ■イラスト/©うえだのぶ
 ■発行/宇部市教育委員会
 平成19年(2007年)3月